

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	24037
課題名	人工股関節全置換術後の患者の日常生活動作のニーズの抽出―スクリーニングシートの有効性―
研究期間	西暦 2024 年 8 月 7 日（実施許可日）～2025 年 5 月 31 日
研究の対象	1）人工股関節全置換術を受けた患者さん 2）2024 年 4 月～2024 年 9 月の期間内に 8 階西病棟に入院されていた患者さん
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：スクリーニングシート、診療録から年齢、性別、日常生活動作のニーズに対する患者さんの発言） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	研究責任者は、2023 年に旭川医科大学病院で人工股関節全置換術を施行した患者の退院後の活動ニーズに関する研究を行い、人工股関節全置換術を施行した患者の日常生活動作のニーズとして、車や自転車の運転などの手段的日常生活動と、仕事、スポーツ、ペットの世話、孫の世話、介護、性行為などの拡大日常生活活動があることを明らかにし、入院時から ADL に関するスクリーニングを行うことで、患者の潜在的なニーズに応えることができると考察しました。この研究の結果を元に、退院後に行いたい日常生活動作に関するスクリーニングシートを作成しました。本研究では、本スクリーニングシートが退院後の日常生活動作のニーズの抽出に有効であることを明らかにすることを目的とします。本研究の成果は、患者さんのニーズに沿った日常生活動作の教育に役立つと考えます。
研究の方法	退院後に必要な動作と役割に関するデータを抽出、先行研究と比較し統計学的に分析します。
その他	該当なし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者：旭川医科大学病院看護部 8 階西病棟看護師 橋本ちひろ 連絡先：0166-69-3680